

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策 : 05 一人一人が学ぶよこびを実感できるまちを目指します

基本施策 : 03 学校給食の充実

主管課長職・氏名	学校給食センター所長 黒沼 弘
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の平成27年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

児童・生徒が心身ともに健全に発達するため、引き続き安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供するとともに食の指導の充実を図り、望ましい食習慣の理解と実践の支援など、食育の推進を目指します。

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単位 kg	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	A	
			9,805	-	-	-	-	73.8	
2	幸福 家族一緒に食事をする回数（1週間） 単位 回	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	D	
			9.51	-	-	-	-	△25.6	
	単位								

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 05030100 安全安心な学校給食の提供と食育の推進 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量 単位 kg	9,538	9,800	9,800	9,800	9,900	9,900	A	
			9,805	-	-	-	-	73.8	
2	幸福 05030100 安全安心な学校給食の提供と食育の推進 家族一緒に食事をする回数（1週間） 単位 回	10.12	10.5	11	11.5	12	12.5	D	
			9.51	-	-	-	-	△25.6	
	単位								
	単位								
	単位								

前期基本計画 平成27年度 基本施策方針評価書

政 策：05 一人一人が学ぶよろこびを実感できるまちを目指します

基本施策：03 学校給食の充実

主管課長職・氏名	学校給食センター所長 黒沼 弘
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての平成27年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

A	達成した
	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な学校給食を提供するため、地場農産物の使用を推進しました。 学校給食を安全かつ確実に提供するため、計画的に施設の改修及び設備の更新を実施しました。 学校給食への関心や食べることの意欲を高めることを目的とした「希望献立」及び「食に関する指導」を実施しました。 安定した学校給食運営のため、学校給食費の収納率の向上が図られました。

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、平成27年度の重点課題の達成（実現）状況

A	達成した
	<p>【安全安心な学校給食の提供と食育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校給食食材生産供給組合からの年間納入量、食に関する指導回数 <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地場農産物の使用量を増加し達成しました。また、指導回数の計画値100回を上回る実施をしました。（127回） 施設の改修及び設備の更新を実施しました。（マンホールポンプ制御盤更新工事及び下処理室等冷暖房装置新設工事） 学校給食費の収納率の向上が図られました。（平成26年現年度分98.87%、平成27年現年度分99.03%）

3. 基本施策の実現に向けての平成27年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
	<ul style="list-style-type: none"> 核家族化や就労形態の多様化による食生活の変化。 食物アレルギーの種類の多様化に対する対応。 塩分摂取量の削減のための減塩対策。

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
	<ul style="list-style-type: none"> 政策達成のため、引き続き同一内容の政策が必須であり、見直しの必要はありません。

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 平成29年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き安心・安全な学校給食の提供にあたり、徹底した安全衛生はもとより、地場農産物の活用を促進した食育推進を図るとともに、民間委託による調理業務を、これからも安定していく必要があります。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気候変化に対応した地場農産物受入量の安定確保。

